

鳥取市議会総務企画委員会会議録

会議年月日	令和4年12月26日（月曜日）		
開 会	午前9時58分	閉 会	午前11時8分
場 所	市役所本庁舎7階 全員協議会室		
出席委員 （8名）	委員長 砂田 典男 副委員長 長坂 則翁 委員 柳 大地、岡田 実、西尾 彰仁、平野真理子、 伊藤 幾子、上杉 栄一		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	局長 補佐 毛利 元 議事係長 中川 真理		
出席説明員	<p>【企画推進部】</p> <p>企画推進部長 高橋 義幸 企画推進部経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 戸田 昭弘 政策企画課課長補佐 平田 政志 政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 上田 貴洋 政策企画課地方創生・デジタル化推進室長補佐 上田 芳郎 秘書課課長補佐 中川 直人 秘書課広報室長 松本 縁 文化交流課長 福山 博俊 情報政策課長 山根 寿彦 情報政策課課長補佐 松田 仁史 情報政策課課長補佐 田渕 聡</p> <p>【市民生活部】</p> <p>市民生活部長 鹿田 哲生 次長兼地域振興課長 漆原 利明 地域振興課課長補佐 山名 常裕 協働推進課長 北村 貴子 協働推進課参事 山根 優子 協働推進課課長補佐 宮谷 卓志 市民総合相談課長 大島 義典 市民総合相談課課長補佐 金谷 幸一 市民課長 西垣 隆司 市民課課長補佐 中島 泉</p> <p>【環境局】</p> <p>環境局長兼生活環境課長 国森加津恵 生活環境課課長補佐 古網 竜也 廃棄物対策課長 上田 光徳 廃棄物対策課課長補佐 西澤 直也</p> <p>【総合支所】</p> <p>国府町総合支所長 湯谷 一也 国府町総合支所副支所長 川口 泰弘 河原町総合支所長 九鬼 栄一 河原町総合支所副支所長 武田 恵子 用瀬町総合支所長 片山 学 気高町総合支所長 中原 登 気高町総合支所副支所長 久野 明男 鹿野町総合支所長 岡本 幸子 青谷町総合支所副支所長 安達 典子</p>		

	<p>【監査委員事務局】</p> <p>事務局 長 富山 茂 事務局 次長 川口 悦代</p> <p>局 長 補 佐 金岡 正樹</p> <p>【選挙管理委員会事務局】</p> <p>事務局 長 馬場 睦雄 事務局 次長 田淵 康修</p> <p>【市議会事務局】</p> <p>事務局 長 保木本英明 事務局 次長 植田 光一</p> <p>局 長 補 佐 毛利 元</p>
傍 聴 者	2人
会議に付した事件	別紙のとおり

午前9時58分 開会

【企画推進部】

◆砂田典男委員長 皆様、おはようございます。

（ ） おはようございます。

◆砂田典男委員長 時間には少し早いですけど、皆様お集まりですから、ただいまより、総務企画委員会を開会いたします。

それでは、企画推進部に入ります。まず初めに、高橋部長に御挨拶をいただきたいと思えます。高橋部長。

○高橋義幸企画推進部長 おはようございます。企画推進部長の高橋でございます。本日は、議案第141号鳥取市一般会計補正予算、審査をよろしくお願ひしたいと思います。内容につきましては、先般の委員会で御説明をいたしておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

なお、先般お配りした資料、一部訂正がございましたので、訂正版をお配りしております。そちらで御覧いただければというふうに思えます。

では、質問等、担当課長のほうで答えさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。

◆砂田典男委員長 それでは、議案審査に入ります。審査に先立ちまして申し上げます。質疑及び説明、答弁は簡潔にさせていただきますよう、よろしくお願ひいたします。執行部及び委員の皆様、よろしくお願ひいたします。

議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（質疑・討論・採決）

◆砂田典男委員長 それでは、議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑がございますか。柳委員。

◆柳 大地委員 事業概要書66ページ、若者定住促進事業、政策企画課について、ちょっと質問

をさせていただきます。令和2年度～令和4年度で2,600万っていうことで、大体年間900万行かない程度かと思えますけど、それで、年度当たり約7組前後っていうところが、成婚っていうところにつながってると思うんですけど、この900万かけて7組っていう、ここら辺、どう評価してるっていうか、教えてください。

◆砂田典男委員長 戸田次長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 政策企画課、戸田です。多くのお金をかけて、この成婚数でいいのかという、費用対効果の面のことかと思えます。出会いから成婚に至るまでは、一定の期間が必要でございます。息の長い取組というものが必要になってまいります。婚活事業の開始当初と、平成26年度からなんですけれども、比較しますと、近年は、1年当たり、成婚数は増加傾向にあるということでございます。平成27年～29年度が、大体平均3.6組、令和元年～3年が、平均7組というようなことで、事業実施の効果は、少しずつつかもかもしれませんが、現れてきているというふうに考えております。

そのほかにも、実際に、会員、婚活の会員さんというのがおられるんですけども、実際に、それを退会される方に、その理由をお聴きしたときには、婚活サポートセンター会員以外の方と成婚されるという方が、104名ぐらいあるというふうに伺っておるところでございます。センターの活動を通しまして、婚活に前向きに取り組めたというような話も頂いておるところでございます。

全国的に、未婚化や晩婚化が進行する中に、麒麟のまちの圏域が、将来にわたって持続的に発展していくために、若者定住につながるこの婚活支援というのは、取組は重要であるというふうに考えております。そのために必要な経費であるとは考えておりますけれども、なるべく低い投資で効果を上げるというのは、もちろんでございますので、そういった工夫、改善というところも加えながら、取り組んでいきたいというふうに考えております。以上でございます。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 この事業自体の重要性は、すごく重々承知しているんですけど、結局、多分、この今年度の実績、今年度っていうか、この3年間の実績っていうのが、恐らく、次年度以降のその公募型プロポーザルのその1個基準じゃないですけど、そこを市役所として、どう評価してるっていうのが、次、こう応募する企業側の1個基準にもなると思うんですけど、なので、市役所としては、この900万かけて年間7組っていうのは、非常にいい評価というような、今認識でしょうか。

◆砂田典男委員長 戸田次長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 政策企画課、戸田です。その一定の効果はあるというふうに考えてはおります。それは、麒麟のまち圏域全体で取り組んでおるところでございます。この中には、麒麟のまち、ここ数年間で、36組、39組ぐらいの成婚数が上がっておるわけですけども、その中でも、いろんなまちの方が成婚に結びついておるところからも、一定の成果は上がっておるというふうに考えております。以上でございます。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 僕がこう質問してるのは、費用対効果が適切かどうかという質問で、もちろん、

この成婚数が上がってるっていうのは、もちろん重々承知なんですけど、この費用対効果を、どう評価してますでしょうか。

◆砂田典男委員長 戸田次長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 費用対効果の面でございます。この事業には、インセンティブというのも設けておまして、実際には、成婚数に応じて、成婚数6組が基準値なんですけれども、それは、これまでの平均値を取って、6組っていうのが基準値になってるんですけども、それを1組上回るごとに20万、最高で60万、3組ですね、9組まで、そういったことでインセンティブを与えておったり、あと、イベントの会員数、こちらのほうも、基準値600名というところを、毎年800名、850名ですか、にさせていただくよう取り組んでいただいております。これもインセンティブを設けておまして、125万円、最高で、600組が800組、すみません、ちょっとお待ちください。850名ですね。850名になるということで、インセンティブを設けております。そういったことで、それを超えるイベント会員数であったりですとか、成婚数っていうのを、これまでも上げてきておりますので、一定の効果はあったのではないかと、いうふうに考えております。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 一定の評価をするということなんですけど、これ、1組当たり100万円超だと思うんですよ、実際。結婚にたどり着くって、もちろん、そんなに簡単なことじゃないのも、重々承知してますし、ただ、例えば、100万円超、1組にかけるのであれば、これ、僕も県外からの移住組なんですけど、県外の若い夫婦だったり、そういうところに、もう鳥取に移住してきたら100万円渡すで、もうシンプルに、多分100万円で、多分7組以上の効果、出ると思うんですよ、しかも、そっちのほうに移住にもつながるし。なので、非常に、一言で言えば、コスパが悪い事業だなと思って、何か、もし、これ、継続するのであれば、もっとちゃんと、ここ評価しないと、結局、多分、次の事業者も、同じ程度が目安になると思うので、実際、この金額で何組が適正なのかっていうのは、そここそ、まさに検討していかなくちゃいけないと思うんですけど、少なくとも、1組100万円超は、僕は、とても適正な金額に思えなくて、っていうところなので、検討のほう、お願いいたします。

◆砂田典男委員長 戸田次長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 会員等からも、この婚活サポートセンターについての取組のアンケート調査等も行っております、毎年。そういった中で出てきた課題というものを、改めてしっかりと見直しまして、次の年への改善点として取り組んでいくと、そういうことを継続していているところがございますので、今後もそのように、必要な工夫、改善を加えながら取り組んでまいりたいというふうに思っております。以上です。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 ぜひ、大体、もう何組目安というのもおかしな話かもしれないですけど、でも、少なくとも、それは、選定の段階では、ある程度、こう目標値はきちんと示したほうがいいのかと思います。

◆砂田典男委員長 上杉委員。

◆上杉栄一委員 関連になるんですけども、この婚活サポートについては、議会の決算審査であったり、予算審査であったり、結構議論になるわけですし、さっき柳委員が発言した、費用対効果がどうなのかというような話が、この委員会の中でも、あるいは議会の中でも、しばしば、これ、議論になるお話です。費用対効果ということになると、その費用に見合うだけの効果があるのかってということになると、なかなか難しい問題、もちろんあるわけですし、特に、行政が、今、その取り組んでいる事業っていうよりも、例えば、一例挙げると、バードスタジアム等々の費用対効果がどうなのかっていうような話や、体育館の費用対効果はどうなのかという、要するに、費用はかかるけれども、いわゆる市民満足度がどの程度あるのかというような格好になるわけで、その数字として上がってくるような状況でないような、そういった場合も、もちろんあるわけですしね。この婚活サポートセンターについて、最終的には、何組が、要するに、成婚が成立しましたということが、結果論として出てくるんですけども、それだけではなくて、それに参加する、さっき言ったインセンティブの話もあつたんですけども、要するに、若者がどれぐらい集まって、どういう効果があつたかというようなことで、最終的には、そこまでの結論には至らなかつたとしても、その辺りの工程は、その結果といいますか、工程っていうものを、その辺をしっかりと、やはり知らしめないと、ただ単に、結果論で、これだけのお金使って、これだけの、それこそ成婚がありましたというのは、要するに、その辺の過程が全く見えないわけですしね。その辺りは、もう少し丁寧っていうかね、説明する必要があるのかなというふうに思います。意見で言っときます。

◆砂田典男委員長 伊藤委員。

◆伊藤幾子委員 私も、この若者定住促進事業費についてなんですけど、これは、毎年毎年、事業がされてて、私は、大体、そもそも成婚数の目標値を設けてること自体、おかしいと思ってる意見なんです。っていうのは、ある意味、結果論ですので、それはもう本当に分からないことなのでね、強制するわけにもならないし、本当に結果論なので、目標値をつくってること自体が、やっぱりおかしいと私は思ってるんですけど、その費用対効果で言えば、結局は、成婚数がいっぱいあるほうが、費用対効果はええっていうことになるので、またそれも何かおかしいなと思つて、さっき説明の中で、この会員の中ではないけど、ほかの人と結婚されてっていうので、104名だか、何かって言われましたよね。私、あれ聞いてて、ちょっと私は、狭い捉え方してたんですけど、ここにも参加するけれども、ここに参加することによって、何かその結婚に対する意識だとか、イメージがちょっと広がつてね、ほかに目も行くようになったっていうきっかけにもなつたのかなと思つたんですよ、あの104名という話を聞いてね。だから、さっき上杉委員も言われましたけど、決してこの会員同士の中の結果だけではなくてね、本当に、このことを通して、こう、もっとこう何かいい面があるよ、何かそういうことも、しっかりやっぱり検証して、話を聞かせていただけると、もっと受け止めがね、もっと前向きな受け止めを、市民にしてもそうですし、してもらえないんじゃないかなと思つました。やっぱり、意識がどう変わつていったのかっていうとこまで、ちょっと聞き取りだとか、アンケートだとか、何かそういったこともしていただけると、この業者さんにね、ぜひ、それはしていただきたいなと思います。以上です。

◆砂田典男委員長 そのほかの委員の皆様で。岡田委員。

◆岡田 実委員 岡田でございます。私も、今の若者定住促進事業についての質問といたしますか、意見も入るんですけども、この事業は、鳥取市のほうが行ってる事業でもあるんですけども、一方では、鳥取県さんのほうは、えんトリーという、鳥取県のほうが、婚活サポートセンターというものも立ち上げてる状況でございます。そういった、市民・県民から見た目線の中で、市も、こういった婚活サポートセンターをやりますし、県も婚活サポートセンターがあるんですけども、その辺の連携っていうのですか、何か図られてることってないのかなっていうところの質問です。

この質問の理由なんですけども、実は、私も、たくさんというか、今、数名の方から、親から、例えば、うちの息子は、まだ結婚しとらんだけど、どっかおらんだかとか、あるいは、まちのそのイベントなんかに出とったときに、ちょっと、こいつ若いけど、結婚の機会がないけえ、何とかしたってえなとか、そういう、いろんなところで、こういう話を聞くわけです。そのときに、反省なんですけど、私自身が、鳥取市に、こういった婚活サポートセンターがあるよっていうことが、すぐ言えなかった私にも責任はあるんですけども、もっと潜在的に結婚したい人はたくさんいると思います。そういったところを、いかにこう顕在化させるかっていうのは、こういった場が重要だと思いますし、もう一つ、ニーズとしてよく聞いた、質問としては、そういった連携はどうですかっていうところなんですけども、ニーズとして聞いたのは、少しこう、自分の息子は、イベントなんかに出ていくようなタイプではなくて、しっかりと話をしたいんだとか、年齢層が高くなって、そういうイベントに行っても、なかなか出会うってことが難しいんじゃないかというふうに諦めてる方、そういったニーズがたくさんあることを聞きました。だから、そこの辺のニーズを確認しながら、また、民間の事業者もあるでしょうし、鳥取県さんのサポートセンターもあると思うんですけども、その辺の連携っていうのを図っていくことが、市民の結婚の機会っていうものを増やしていくんじゃないかっていうところに思うところなんですけども、今のそういった実態っていうところを教えていただけたらと思います。

◆砂田典男委員長 戸田次長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 鳥取県のえんトリーとの連携というところでございます。連携につきましては、特に、ここっていうところをやっとすることはないんですが、差別化という意味で、えんトリーさんは、一对一の婚活事業をやっておられるということで、やはり本当で、こうそういったイベントでの多くの参加者を望まずに、もう真摯、こう一対一でやり取りして、こう本当で見合う方を見つけていくってようなやり方をやっておられます。鳥取市においては、先ほど申し上げましたように、イベントを通して、気の合う方といたしますか、そういった方を見つけていく、マッチングしていく、そういったふうな、差別化って言ったらあれですけども、違いを設けておるというところでございます。はい。以上でございます。

◆砂田典男委員長 岡田委員。

◆岡田 実委員 はい。すみません、もう一つ質問です。申し訳ございません。この事業は、麒麟のまちの婚活サポート事業ということで、御存じのとおり、麒麟のまちっていうのは、1市

6町で構成されてる範囲ではあるんですけども、鳥取市が契約のような形で、この予算は、要は鳥取市だけが出してるものなのか、いや、はたまた若桜であったりとか、岩美とか、その隣でいう、県北の香美とか、新温泉もあつたりもするんですけども、その辺が、予算的な何かこう連携を組んでるものなのか、もう鳥取市が、これを予算支出をして、ソフト面だけで、何ていうんでしょう、連携図ってるんだらうかっていうところのちょっと質問です。

◆砂田典男委員長 戸田次長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 政策企画課、戸田です。予算につきましては、連携中枢都市圏の事業ということで、中核市である鳥取市がリードをしていくということでございます。予算につきましては、鳥取市が、今見ておるといふところでございます。

◆砂田典男委員長 そのほか何かございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 以上で、質疑を終了いたします。

討論はございますか。

（「ないです」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 これより、議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採決いたします。本案に賛成の方は、挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◆砂田典男委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

それでは、これで企画推進部を終わります。執行部の皆様は御退出ください。ありがとうございました。

【市民生活部】

◆砂田典男委員長 それでは、市民生活部に入ります。

まず初めに、鹿田部長に御挨拶をいただきたいと思います。鹿田部長。

○鹿田哲生市民生活部長 市民生活部長の鹿田哲生でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日の委員会では、議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算、並びに、143号の墓苑事業費特別会計、148号電気事業費特別会計、この3つの議案につきまして、審査ということでございます。概要につきましては、先週の月曜日、19日の委員会で御説明さしあげたところでございますが、御不明な点など、お尋ねいただきまして、審査くださいますようお願いいたします。

また、先週の金曜日でございますが、追加提案ということで、報告第22号専決処分事項の報告についてということでございます。内容につきましては、先回の委員会で、一報ということで御説明さしあげましたが、その後、市長専決処分いたしましたので、その御報告でございますので、併せて審査ということで、この4件でございます。どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

◆砂田典男委員長 それでは、議案審査に入ります。審査に先立ちまして申し上げます。質疑及

び説明、答弁は簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いいたします。

議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（質疑・討論・採決）

◆砂田典男委員長 それでは、議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑はございますか。西尾委員。

◆西尾彰仁委員 ちょっと分からないところを、もう少し教えていただきたいんですがございますけれども、説明資料の4ページの協働推進課、交通安全対策費ということで、制服ということで、事業別概要書は24ページの上段にございます。20名の方の制服等、ヘルメットとかっていうんですけど、これは、新しくされた方に、こう出されるということで、例えば、5年たったら、また新しいのを出すとか、そういうことは、あるのかないのか。それから、主な、これ、1人当たりで割れば、大体、全員ワンセットで出されるものなんでしょうか。ちょっと内訳が分かれば、簡単に教えていただけたらと思います。

それと、もう一点、説明概要の7ページの公園管理費のところでございます。鹿野町総合支所の産業建設課ということで、腐食等により劣化した鹿野城跡公園内に設置してある防護柵、及び、常夜灯の修繕に関する経費ということで、事業別概要書のほうも、59ページの上段にございますが、防護柵は何メートルぐらい直されたり、常夜灯は何灯ぐらい直されて、LEDにされたとか、その辺の内訳が分かれば教えていただけないでしょうか。

以上、2点をお願いします。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。御質問の内容、交通安全指導員の制服の関係でございます。約20名、これは、例年2年に1回の更新ということで、新しい方の制服についてのみの予算計上となっております。1人当たり、大体12万8,000円でございます。準備する物品の内容でございますが、制服の上下と、シャツ、ネクタイ、帽子、手袋、靴、ヘルメットですとか、反射チョッキですとか、腕章ですとか、交通指導員のバッジの一式となります。基本的に、5年に1回とか、そういった更新は考えてないんですが、新しいものではなくても、貸与ですので、返ってきたもので、また再利用できるものに関して、お渡しできるものがあれば、させていただいているという状況でございます。以上でございます。

◆砂田典男委員長 西尾委員。

◆西尾彰仁委員 一番、何ですか、黒いような皮のコートなんか、結構するんじゃないかなと思うんですけども、その中で一番経費がかかっているものとしては何なのか、ちょっと教えていただけませんかでしょうか。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。すみません、手持ちの資料が、男性・女性一式ということで持っておるものですので、制服、男性が11万4,378円、女性用として11万7,095円。冬服は、上衣ということで1万9,800円が、一番高いものとなっております。以上でございます。

◆砂田典男委員長 西尾委員。

◆西尾彰仁委員 分かりました。使えるものは、また回しておられるということですが、交通指導員さん、この寒い中、一生懸命、朝晩立っておられますので、できる限りの、そういう、何ていいますか、支給品なんかを、手厚く出していただけたらと思います。これは意見としてです。以上です。

◆砂田典男委員長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 鹿野町総合支所、岡本です。御質問いただきました、今回修繕する防護柵なんですけれども、二の丸にあります防護柵でして、一番、ちょっと点検する中で、一番危険だと思われる11メートルほどを修繕する予定にしております。あと、常夜灯につきましては、1灯、平成八、九年ぐらいに設置したというふうに伺っておりますけれども、その部分の根元が危険な状況で、倒壊を恐れまして、花見までに修繕させていただきたいということで、このたび予算を要求させていただいたところでございます。以上です。

◆砂田典男委員長 西尾委員。

◆西尾彰仁委員 LEDでございますよね。

◆砂田典男委員長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 鹿野町総合支所、岡本です。LEDにはなっておりません。以上です。

◆砂田典男委員長 西尾委員。

◆西尾彰仁委員 何でこんなことを話したかっていいますと、私、この春に、平日に、鹿野城跡で、知人と昼食で花見をさせていただきました。とてもいいところで、コロナなのに、もう満員な状態でしたが、ソーシャルディスタンスを取って、しっかりできました。夜に来たら、もっと美しい、また違ったものが見えるんじゃないかなと思っておりますので、LEDではないということですが、今後、しっかりした整備をやっていただいて、昼・夜、花見といえますか、あそこは、とてもいい、風光明媚なところでございますので、適切な管理の下に、たくさんの方に来ていただけるようにしていただくことを意見いたします。以上です。

◆砂田典男委員長 そのほかに。柳委員。

◆柳 大地委員 その先ほどの制服の件ですけど、制服1人当たり12万8,000円で間違いじゃない、さっき12万8,000円って言われたと思うんですけど、制服1人当たり、一式12万8,000円で合ってますか。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。単純に、この12万8,000円っていうのが、補正額の割る20人というところで算出しております。制服だけではなくて、ネクタイですとか、附属のものを合わせたところでの、ざっとした平均値でございます。先ほど申し上げましたのは、男性・女性、上着ですとか、そういった上着と、ズボンですとか、そういった部分の一式の値段となっております。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 逆に、その装備品以外は入ってないわけですね、この金額の中には。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。先ほど申し上げました上着ですとか、制服一式の中には、装備品は入っておりません。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 すみません。僕が、内訳が分かってないのもあるんですけど、内訳が分かってないのもあるんですけど、1人当たり12万8,000円のその、あれっていうのが、僕には、物すごく高く感じて、今、恐らく、その毎回頼んでる業者さんとかがあるのかなと思うんですけど、僕は、もうそこから見直しするべきじゃないかなと思って、12万8,000円の装備品、しかも、それ、2年に1回、もちろんリースとか、それもあるとは思いますが、あまりにも高過ぎないかなっていうことで、もちろん、その金額、そもそも、ちょっと見直すべきじゃないかなと思うんですけど、その金額の感覚というか、1人当たり12万8,000円かかるっていう、そこら辺、どのように感じてますでしょうか。

◆砂田典男委員長 鹿田部長。

○鹿田哲生市民生活部長 市民生活部長、鹿田でございます。確かに、制服が12万円は高いのではないかという御意見、ごもっともなお話でございます。一方で、交通指導員の制服っていうのは、フルオーダーといいますか、競争原理で働くような、一般的に売ってあるようなものではないといったことでございます。私も、30年ぐらい前に、この交通指導員の担当してございましたけども、当時から、鳥取市内でも、1者あるかないかといったような業者さんをお願いするというので、非常に価格が安くなるのが望ましいのではありますけども、そういったような状況でございますので、御理解いただきたいと思っております。いたずらに高い金額で、いや、それをよしとしてるわけではございませんけども、全国各自治体、交通指導員、何万という方いらっしゃるんですけども、一般的な、そういった服装品ではございませんし、また、装備品につきましても、特殊なものであるということでございます。

当然、日々、毎回、毎年、2年に1回ですか、更新で、こうした時期に予算要求させていただきますけども、その価格が適正であるかどうかということも、御意見承りましたので、そのように考えてまいりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 県内業者だったり、市内業者に発注するっていうのは、僕はすごく大切なことだと思うんですけど、でも、それでも、ちょっとあまりにも、やっぱり金額高過ぎないかなって、その服装に対して12万8,000円って、やっぱり市民の感覚からしたら、やはりちょっと適正な金額じゃないと思うので、その業者選定というところが、もうちょっと市内だったり、県内の業者で対応できるのであれば、あれだと思うんですけど、正直、このような金額だったら、その県外の業者さんも含めて、僕は考えるべきじゃないかなというふうに考えております。いかがでしょうか。

◆砂田典男委員長 鹿田部長。

○鹿田哲生市民生活部長 御意見承りました。今後は、そういったようなことで対応させていただきます。以上です。

◆砂田典男委員長 長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 はい。19日の説明のときにね、部長、さっき、交通指導員って言われたけど、交通安全指導員ですから。そもそも論のことを言うんだけど、19日の説明のときは、現在98名って言われたんですかね。ちょっと私の聞き違いかどうか分かりませんが、ちょっともう一回教えてください。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。現在98名の交通安全指導員さんに従事していただいております。

◆砂田典男委員長 長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 それじゃあね、定数、定員は何名ですか。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。協働推進課が算定しております定数といたしましては、127名を定数とさせていただきます。以上です。

◆砂田典男委員長 長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 協働推進課が担当しておる、じゃあ、それ以外の担当もあるんですか。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。協働推進課が地域に依頼をして、推薦していただいている交通安全指導員さん、これが、定員としては127名とさせていただいているところでございます。現在98名の方が委嘱をさせていただいているところでございます。

◆砂田典男委員長 長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 例えば、消防団員って、これは危機管理部の関係なんですけども、消防団員の定数もきちっと定められておりますよね。しかし、実は、定員割れしておると。交通安全指導員も、現在員98名っていうことであれば、引き算をすれば、数が出てきますよね。これの解消策っていうのは、どういった対策を講じておられるんですか。実は、それぞれの地区の自治連合会に頼まれたり、交通安全対策協議会のほうから頼まれたところがしとられるんでしょうけれども、本当に、もう指導員、交通安全指導員を探すのに四苦八苦して、実は取り組んでおられるのが現状なんです。それで、この、例えば、鳥取市の127名の定員っていうのは、これは、全国的な何か基準があって、その基準に基づいて、127名っていうのははじかれておるんですか。そこら辺り、どうなんですか。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。定数の基準でございますが、全国的にということではなくて、鳥取市の中で決めている基準でございますが、鳥取地域では、基本的に、小学校の児童数250人未満の校区には、お二人、250人以上の校区には3名、それから、人口ですとか、児童数、交通量等を考慮いたしまして、美保、保つ美保地区、美保南地区、城北地区には、プラス1名増員の4名としておりますし、世紀小学校は、広範囲にわたりますので、松保地区に2名、千代水地区に2名ということで配置をさせていただいております。支所では、先ほどの小学校の児童数250未満の地区には2名と、あと地区公民館数、それから、

小学校の児童数 250 人以上の校区では 3 名と、地区公民館数ということで算出をしております。以上でございます。

◆砂田典男委員長 長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 確かに、交通状況っていいですかね、いわゆる山間地域とを比較して、交通量の多い地域とか、そういったことも、当然配慮した中での地区別に定数決めておられるでしょうけれども、問題はね、慢性的な定員不足、これをどうして解消されようとしておるんですか。そこですよ、ポイントは。ですから、あつてはならない交通事故が起きちゃいけないわけですから、その慢性的な定員不足を解消するための方策を、きちっと打ち立てられないと、私は駄目だと思いますよ。そこら辺りの考え方はどうですか。

◆砂田典男委員長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 協働推進課、北村でございます。まず、この定員割れの状況が続いているということと、あと、今後も、地域の人材を地域にお願いするっていうのは、なかなか、本当に難しいなあと、交通安全指導員にかかわらず、様々な役が難しいなあとというふうに考えているところでございます。そういったところで、地域の方、地域の役員の皆様をお願いするだけではなくて、公募という形を考えていかないといけないのかなあとというふうに考えたりもしておりますし、あと、もう一点は、交通安全指導員の皆さんの活動を紹介して、地域に貢献されてる方があるというような周知の活動も、同時に行っていく必要があるなというふうに思っております。

あと、先ほど、柳委員からの御指摘もあつたんですけども、指導員の皆さんの制服、こういった部分も、しっかり支給ですとか、更新ができて、警察と連携しながら、立哨活動が開催できるように、やりがいを持って活動していただけるように、取り組んでまいりたいと思っております。以上でございます。

◆砂田典男委員長 副委員長、指名してください。

◆長坂則翁副委員長 砂田委員長。

◆砂田典男委員長 すみません。指導員の件で、ちょっと一言、柳委員もいろいろと事情が分かってないと思いますから。私は、実は、平成 19 年から今日まで 16 年間、美保地区の交通安全指導員として、吉成 2 丁目の交差点で毎朝立っています。小学校が授業がある全部の日にちです。それで、先ほど、その制服、12 万 8,000 円が高いか、安いかっていう話が出ましたけど、私は、その当時支給された制服を、この 16 年間着ています。だから、12 万 8,000 円を 16 で割っていただければ、1 年当たりのコストが出ると思いますから、指導員はみんな、そういう形でね、制服を維持していますから、その辺りを理解してやってください。そのほか何かございますか。伊藤委員。

◆伊藤幾子委員 ごみの減量化推進事業費、事業別概要 25 ページなんですけれども、今回、補助金がちよっと足り苦しいということで、増額補正なんですけど、これね、すみません、生ごみ堆肥化の容器及び基材の購入費への補助金なんですけど、それぞれどれぐらい、今のところね、活用されてるのか教えていただけますか。

◆砂田典男委員長 上田課長。

○上田光徳廃棄物対策課長 廃棄物対策課、上田です。生ごみ堆肥化容器の補助金ですが、この令和4年度、当初でいきますと、基本的には、申込みとしては、想定していましたが、容器が、予算としては約16件、容器のほうは、1基当たり4,000円が上限としてますので、16件、そして、基材、中に入れる材料ですが、これを28件ということで、12万円の予算立てをしておりました。今現在、11月で、11月の段階で、約、ほぼいっぱい、予算額に到達しつつあるという状況で、この説明をさせていただいたところですが、基本的に、申込みの段階で、容器だけの申込みの方、それから、容器と基材をセットで申込みの方等々ありまして、今現在でいくと、今の件数でいきますと、すみません、それぞれ細かい内訳のちょっと資料が、ちょっと今はないですが、11月現在で11万8,700円、これは、両方合わせて38件、申込みの件数としては、申請者の数、件数としては、38件の11万8,700円というのが、11月末現在でした。それぞれ容器と、その基材の内訳は、ちょっと今手元に資料ないので、申し訳ありませんが、お答えできません。以上です。

◆砂田典男委員長 伊藤委員。

◆伊藤幾子委員 分かりました。昨年度は、令和3年度は、もう年度末で、もう予算いっぱいいっぱいなので、新年度についていうね、市民の方がいらっしゃったってということで、やっぱりこういう途中でね、足り苦しいというときには増額補正をっていうのも、決算のときに言わせてもらいましたけど、本当にそういう対応をさせていただいてよかったと思います。

それで、これが今回限りではなくて、今年度以降は、やっぱり足りないなっていうことになれば、こう増額補正をしてでも、やっぱり対応していくっていう方針に変えたといいますか、そういう理解でいいのかどうか。

◆砂田典男委員長 上田課長。

○上田光徳廃棄物対策課長 廃棄物対策課、上田です。委員御指摘のとおり、これまでは補助金の性質っていいでしょうか、補助金の考え方として、予算の範囲内とうたってますので、基本的には、予算がいっぱいになると、そこで今年度おしまいですというのが昨年まででした。しかし、今年度、昨年の決算のときにも、御意見、御質問等も頂いたということで、かなり今年度については、その12万円にプラスをして8万円ということで、20万円に上げさせていただきました。基本的には、この利用していただく方が増えれば増えるほど、ごみの減量化にもつながるという考え方で、そのように補正をさせていただきます。今後も可能な限り、必要があれば、補正を組んで対応していきたいという具合に考えております。以上です。

◆砂田典男委員長 伊藤委員。

◆伊藤幾子委員 ぜひ、これはね、市民が本当に取り組むことに対する補助金なので、足りなくなったら増額でもね、やっぱり対応していくということを、引き続きやっていただきたいと思います。以上です。

◆砂田典男委員長 そのほかの委員の皆様で、何かございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 以上で質疑を終了します。

討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 これより、議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採決いたします。本案に賛成の方は、挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

◆砂田典男委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

議案第143号令和4年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（質疑・討論・採決）

◆砂田典男委員長 次に、議案第143号令和4年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑はございますか。岡田委員。

◆岡田 実委員 岡田実でございます。墓苑事業費特別会計について質問させていただきます。今、この鳥取市が管理をしております市営の墓地というものは、10か所あるということもあるんですが、この中で、今の区画の使用率といいますか、どのような使用をされてるのかっていうところと、あと、募集状況も、少しネットのほうでは見てみたんですけども、私が調べ方がよくなかったのか、2021年の5月の28日段階では、第二いなば墓苑っていうところに募集があつて、あとは募集はしていないというふうな状況でございました。要は、今の管理状況、運営状況っていうものが、どういったものなのかっていうことを、簡単に教えていただけたらと思います。

◆砂田典男委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 環境局、国森でございます。先ほど、10か所の使用率っていうことでお尋ねでした。市内には、旧市内に5か所と、新市域に5か所の計10か所の市営墓地がございます。そのうち、現在、常時募集、行っている場所が、第二いなば墓苑の第3期区画になっております。こちらのほうは、12月25日現在で、今、募集数が、3平米のものにつきましては175区画、5平米のものについては555区画の状況です。その他の墓苑につきましては、再募集という形で、その都度、空き、区画が空いた、まとまって空いたようなときに、再募集という形で広報させていただいておりますけども、12月に募集をかけますが、末恒墓苑7区画、これから募集をかけるところでございますし、下坂本墓地2区画ですね、こちらのほうも、募集をかける予定としております。

管理のほうの御質問でしたけども、先ほど申しました、新たなこの墓地としましては、先ほど申しました、第二いなば墓苑の第3期区画のものでございます。あと、その他墓苑としましては、随時ついでございますか、必要に応じて、区画がまとまりましたら募集をかけさせていただいております。管理としましては、全体を、はい、管理してるところです、はい。

◆砂田典男委員長 岡田委員。

◆岡田 実委員 どうもありがとうございます。この管理の中で、要は、この年間882万7,000円といいますか、補正の額も含めてなんですけども、10か所のところで、毎年管理に、この経費がかかっているっていうところで、必ず必要な部分だとは思いますが、この、要は、この内訳というのですか、簡単に、この予算の中での執行をしてるところの部分について、簡単に教えていただけたらと思います。

◆砂田典男委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 環境局、国森でございます。予算ベースで890万程度、今、管理費として上げておりますけども、いなば墓苑と、円護寺墓地と、第二いなば墓苑等では、管理の方を雇用してまして、そういった方の人件費等もございます。あと、また、末恒墓苑に関係しましては、管理委託を地元の老人会のほうに委託をしております、管理をしていただいておりますし、あと、円護寺墓地等につきましては、もう昭和33年の墓地になって、もう古い墓地等にもなっておりますので、そういった修繕的なものも、かなり上がってきますので、そういった修繕費等にも、充てております。以上でございます。

◆砂田典男委員長 そのほか何かございますか。長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 事業別概要の77ページで記載をされておるんですけども、市営墓地は、鳥取地域で5か所、支所地域で5か所、計10か所ってことですね。いわゆる環境局で、その墓苑事業費で上がっておるのは、これだけなのかもしれんけども、例えば、鳥取市の財産で、墓苑を持っておるところっていうのは、それは把握されておりますか。っていうのがね、私、何で言うかというと、三津の墓苑ですよ、三津の墓苑。あそこは、県道金沢伏野線の県道が走って、その山の上にあるんですが、通路がかなり崩壊っていうか、崩れちゃって、鳥取市にコンクリート舗装してもらって、山道を造ってもらったんですよ。でも、それってね、鳥取市の財産でなかったら、行政は手を出しませんよね。基本的に。でも、鳥取市に山道をコンクリート舗装で直していただいたということは、財産的には、鳥取の、鳥取市の行政の財産という理解でいいんですかね。そこら、何か把握しとられることがあったら教えてください。

◆砂田典男委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 環境局、国森でございます。すみません、委員さんに、今、御指摘いただいたんですけども、私のほうが、こういった、まだ承知をしておりますので、また確認は、経緯、いろいろな墓苑があると思うんですけども、鳥取市で山道を修繕されたっていうことでお聞きしましたので、その経緯等はちょっと確認してみたいと思います。

◆砂田典男委員長 長坂副委員長。

◆長坂則翁副委員長 合併して市域がかなり広がったわけで、例えば、合併地域でもね、例えば、何ていいますかね、いや、昔、村役場がしたんだ、町役場がやったんだただか、あろうと思うんですよ。これはあくまで、私の想像、推測で物を言ってるんですけども、1回そこら辺りで、細かいことも分からんけれど、調べていただいて、三津の件も、1回調べていただいて、また教えてください。現実には、行政に山道をコンクリにしてもらったことは、もう間違いない事実なんですから。でも、行政がやると言った以上、財産的には、鳥取市のものでないのかなと思ってみたり。だから、そういう形で漏れておるようなところが、合併地域でも仮にあるとするならば、それは、1回調査をやっぱりしてみるべきだと私は思いますので、調査を要請したいと思います。以上です。

◆砂田典男委員長 国森局長。

○国森加津恵環境局長兼生活環境課長 環境局、国森でございます。こちらのほうで、また確認等を進めさせていただきたいと思います。また、先ほど、コンクリート舗装っていうことです

ので、ある程度、原材料的に、何か、こちらの鳥取市のほうで負担された場合もあるのかもしれませんが、いずれにしても、先ほど申しましたように、経緯等、はい、確認させていただきたいと思います。以上でございます。

◆砂田典男委員長 そのほか何かございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 以上で、質疑を終了いたします。
討論はございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 討論なしと認め、討論を終結いたします。
これより、議案第143号令和4年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算を採決いたします。
本案に賛成の方は、挙手を願います。
〔賛成者挙手〕

◆砂田典男委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

議案第148号令和4年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（質疑・討論・採決）

◆砂田典男委員長次に、議案第148号令和4年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑はございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。
討論はございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 討論なしと認め、討論を終結いたします。
これより、議案第148号令和4年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算を採決いたします。
本案に賛成の方は、挙手を願います。
〔賛成者挙手〕

◆砂田典男委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

報告第22号専決処分事項の報告について（説明・質疑）

◆砂田典男委員長 それでは、報告に入ります。まず、報告第22号専決処分事項の報告についてです。執行部より、説明をお願いいたします。岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 鹿野町総合支所、岡本でございます。本日の総務企画委員会付議案等説明等資料の2ページを御覧ください。

12月19日に御報告させていただきました、公用車の交通事故につきまして、12月20日付で示談となりまして、同日専決処分を行いました。

この公用車の交通事故の発生日時から発生状況、これは、前回御説明させていただいた内容と全く同じ内容でございます。

6番の過失割合ですが、市が1割、相手方9割で示談を行いまして、修繕費として、相手側

車両の修繕に係る費用の1割、2万1,934円を、本市加入の全国市有物件災害共済会から、相手方に支払うことになりました。

以上で、報告を終わらせていただきます。

◆砂田典男委員長 御説明いただきました。

本件について、委員の皆様から質疑、御意見等ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 はい。

それでは、これで市民生活部を終わります。執行部の皆様は、御退出ください。ありがとうございました。

【監査委員】・【選挙管理委員会】・【市議会】

◆砂田典男委員長 皆様、こんにちは。

それでは、監査委員、選挙管理委員会、市議会に入ります。

まず初めに、富山局長、馬場局長、保木本局長に御挨拶をいただきたいと思います。

○富山 茂監査委員事務局長 皆様、おはようございます。監査委員事務局長の富山でございます。本日は、議案第141号令和4年の一般会計の補正予算（第9号）、いわゆる12月補正の審査になります。よろしくお願いいたします。

○馬場睦雄選挙管理委員会事務局長 選管の馬場です。左に同じでございます。よろしくお願いいたします。

○保木本英明市議会事務局長 おはようございます。市議会事務局の保木本でございます。今回の補正予算、先ほど来から同様でございますけども、人件費の補正予算でございますので、よろしくお願いいたします。

◆砂田典男委員長 それでは、議案審査に入ります。審査に先立ちまして申し上げます。質疑、及び説明、答弁は簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いいたします。

議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（質疑・討論・採決）

◆砂田典男委員長 議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分の質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑ございますか。柳委員。

◆柳 大地委員 選挙管理委員会になんですけど、今回、僕は初めて選挙に参加させてもらって、そのときに、費用感を、僕はすごく、簡単に言うと、ちょっと無駄遣いが多いなというのを、正直感じました。お金のところですね。お金のところも、もっと僕は削れるんじゃないかっていうふうに思ってまして、具体的に言うと、例えば、記録媒体としてCD-ROMが選挙のとき、配られたと思うんですけど、CD-ROM、非常に単価高いですし、あと、その選挙の途中段階でも、全ての候補者に配られたと思うんですけど、紙1枚配るのに、ゆうメールで、こう、ゆうメールですね、ゆうメールで送られてきたり、たった、しかもその紙には、二、三行しか書いてないものを、ゆうメールで送ってくるっていうような、僕は、そういうコスト感覚

が非常に弱いなど。これは、選挙管理委員会だけじゃなくて、ほかの全体の、選挙管理委員会だけを、こう詰めたっていうわけではないんですけど、そういうコスト感覚を、こうもうちょっと詰めていけば、もっと選挙費用を抑えられるんじゃないかなというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。

◆砂田典男委員長 馬場局長。

○馬場睦雄選挙管理委員会事務局長 選管事務局、馬場です。今回の予算は、参議院選挙と関係ないんですけども、市議選のことでも関連してるということによろしいですかね。

◆砂田典男委員長 柳委員。

◆柳 大地委員 すみません。ちょっとそこを理解してませんでした。であれば、取り下げます。

◆砂田典男委員長 そのほか何かございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 以上で、質疑を終了いたします。

討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、議案第141号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採決いたします。本案に賛成の方は、挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◆砂田典男委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

それでは、これで、監査委員、選挙管理委員会、市議会を終わります。ありがとうございます。執行部の皆様は、御退出ください。

請願の不採択理由の確認について（質疑・確認）

◆砂田典男委員長 続きまして、請願の不採択理由の確認に入ります。委員会で不採択となりました、令和4年請願第4号消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出を求める請願について、不採択理由（案）を正副委員長でまとめることで了承をいただいていた。案をレジュメに記しております。

それでは、令和4年請願第4号消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出を求める請願の不採択理由を、インボイス制度は、適正な課税に必要であると考えてためとさせていただきますが、皆さん、いかがでしょうか。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 それでは、そのように決定しました。

【その他】

閉会中の継続調査について（説明・質疑）

◆砂田典男委員長 その他といたしまして、閉会中の継続調査申出書について、お配りしておりますとおりに、議長に提出したいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 以上で、総務企画委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時8分 閉会

鳥取市議会委員会条例第28号第1項の規定によりここに署名する。

総務企画委員長